

健康は、進化する。

BATHCLIN

COMPANY PROFILE

会社案内

「健康は、進化する。」

「健康」は、私たちの事業の原点であると同時に、お客様にお届けする価値そのものです。

私たちは、お客様の健康に対する意識が、時代とともに変化（進化）することを強く認識し、「健康は、進化する。」をスローガンとして掲げ、果敢にイノベーションに取り組んで参ります。

お客様に、価値ある提案を発信し続けること。

これが、株式会社バスクリンの使命です。

Contents

「健康は、進化する。」 01

代表メッセージ 02

経営理念 03

事業領域 04

信頼されるものづくり 05

 研究開発のこだわり 06

 「バスクリン品質」の製造 07

 生薬へのこだわり 08

 環境への取り組み 09

株式会社バスクリンの歩み 10-11

会社概要 12

代表メッセージ

「自然のチカラで、
人間本来のチカラを
取り戻す。」ために。

代表取締役社長 三枚堂 正悟



「バスクリン」は私たちの原点そのものです。

「私たちは、自然との共生を原点として、身体と心と環境の調和を図り、健やかで心地よい生活を提供します。」

私たちにとって経営理念は社会に存在する意義そのものです。入浴剤をはじめとする商品を通じて、お客様、ひいては社会の健康づくりに貢献することを宣言しています。これこそが私たちが存在する目的であり、全ての活動の原点です。

入浴剤を代表する商品名である「バスクリン」を社名としているのは、この原点を表現するにもっともふさわしいと考えているからです。芳香浴剤「バスクリン」としてこの世に誕生し、2020年6月で90歳。長きにわたってお客様の健やかな暮らしを支え、日本の入浴文化をリードしてきたと自負する私たちそのものなのです。

入浴ニーズやスタイルが多様化し、様々な入浴剤が日本の入浴シーンを彩っている現在においても、ゆるぎない存在感と安心感をお届けすべく、たゆまぬ努力を続けています。

変化する健康ニーズに進化した商品を提供

「未病」といわれる「健康だけれど不安がある」と感じていらっしゃる方が増えています。治療を受けるほどではなく、日頃の生活習慣や自然治癒力で自身の健康を取り戻したいと考えている方々です。

私たちは、なるべく自然なやり方で、人間本来が持っているチカラを取り戻して、自らを守り、活力ある毎日を送りたいと願うお客様の期待に応えるべく、津村順天堂の時代から1世紀以上にわたって培ってきた「生薬・自然物」と「温浴効果」に対する知識と経験を活かしたいと考えています。変化するお客様の健康ニーズに、進化した高付加価値の商品やサービスをご提供し、お客様から必要とされる企業であり続けたいと考えています。

「本物志向を貫く商品に対する研究心と真摯な姿勢」「1つの商品に長年取り組み続けてきた商品力・こだわりの強さ」「信頼されるものづくりへの取り組み」という、長年にわたって築いてきた強みを活かし、株式会社バスクリンは、お客様の健やかで心地よい生活の提供をめざし続けてまいります。

経営理念

基本理念

私たちは、自然との共生を原点として、身体と心と環境の調和を図り、健やかで心地よい生活を提供します。

経営指針

信頼されるものづくりを通して美と健康、喜びと感動のある暮らしをおとどけます。

お取引先と目標を共有し、誠意をもって良きパートナーシップを築きます。

全ての社員がいきいきと働ける環境をつくり、ゆとりと豊かさを実現し、社員が日々成長できる会社をめざします。

自然環境への配慮を優先し、社会に対して常に貢献できる会社をめざします。

法と倫理にのっとり、スリムで強靱な経営をめざします。

行動規範

私たちは常にお客様を第一に考え行動します。

私たちは常に現場に足を運び、現物を見、現実を把握し行動します。

私たちは使命感と誠意と誇りをもって行動します。

私たちは自己研鑽にはげみ、チャレンジ精神をもって行動します。

私たちは議論をつくり、互いに理解を深め、総力を結集します。

私たちは礼節をわきまえ、法と倫理を遵守します。

事業領域

快適と安心にこだわる、バスクリン・クオリティ。
私たちの原点は、自然のチカラ、人と環境への配慮、そしてやさしさです。

健やかで心地よい生活の提供

私たちが研究し続けてきた自然素材(生薬・温泉ミネラル)の力を活用し、現代の人々が抱えるさまざまな健康に関する悩みを解消していくために、「自然のチカラで、人間の本来のチカラを取り戻す。」という企業の基本メッセージを掲げました。
お客様に対しては、一人ひとりを健康で理想的なからだに導くための商品・サービスを提供します。



新たなジャンルへのチャレンジ

現在、株式会社バスクリンが扱う製品はお風呂まわりだけではなくキッチンやヘアケア・スキンケアなど幅広く生活を取りまくラインナップへと拡がり、その全てに、私たちの生薬・温泉研究によるノウハウや発想が込められています。私たちの原点は、あくまでも自然のチカラ、人と環境への配慮、そしてやさしさ。それは企業活動の根底に流れる思想であり、同時に株式会社バスクリンの最大の強味です。自然の恵みを、生活を潤す場に役立てていく。その可能性は、今後もますます大きなものになっていくはずです。
入浴剤のバイオニア、そして育毛剤や洗浄剤など、新たなジャンルへのチャレンジ。その先には、もっと大きな活躍のフィールドが私たちを待っています。自然の恵みをベースに、快適と安心、そして地球環境にやさしい製品やニュースを、さまざまな暮らしのシーンに届けていきたいと考えています。



信頼されるものづくり

90年変わらず愛されるバスクリンは、
「信頼されるものづくり」のこだわりの結晶です。

1930(昭和5)年に発売されて以来、たくさんのファミリーに愛されてきたバスクリン。そのロングセラーを支えているのは、社員全員が共有している「信頼されるものづくり」へのこだわりです。健康に役立つ製品を、安心して、楽しく使える品質でお届けするために、株式会社バスクリンは、自ら医薬品レベルの高い品質基準を設定し、ものづくりに取り組んでいます。



研究開発のこだわり

自分たちが使いたい製品でなければ世に出さない。その思いが、私たちのものづくりの原則です。

p6へ ➡



「バスクリン品質」の製造

医薬部外品。でも、医薬品レベル。自主基準の高さは、工場の誇り高さでもあります。

p7へ ➡



生薬へのこだわり

生薬に徹底的にこだわり、その有効性を最大限に活かしたものづくりは、私たちの歴史と伝統、そして自信の表れでもあります。

p8へ ➡



環境への取り組み

研究、開発、生産から、お客様のお手元まで。変わらぬ信頼をお届けするために。

p9へ ➡

信頼されるものづくり | 研究開発のこだわり

自分たちが使いたい製品でなければ世に出さない。
その想いが、私たちのものづくりの原則です。

美と健康、喜びと感動のある暮らしを皆様にお届けするために——。株式会社バスクリンは、生薬や温泉の研究、入浴の科学的研究、新製品や新技術の開発を行っています。自然との共生を原点に、信頼されるものづくりをしていくために、5つの原則を掲げ、実践しています。

研究開発のこだわり



生薬・温泉などの天然成分を応用した素材・製品開発

生薬、温泉などの天然成分を製品に活用することは、100年以上一貫している開発方針です。天然成分を応用した新製品・改良品の開発を通して、お客様に美と健康をお届けしたいと考えています。

目指している効果を得るため、厳しい規格を定め、生薬の選定を行っています。そして、産地によって成分組成比が変わりやすい生薬は、産地限定や契約栽培などを行うことで、より効果の高い生薬品質の確保に努めています。また、温泉を科学して得た知見を入浴剤開発に応用しています。香りは、天然アロマ精油の活用や、香りを採取・分析・再現した香料を開発し、製品開発に活かしています。

感動を与える素材や剤型・処方の開発

製品の特徴を実感し、ご満足いただくためには、種々の素材開発及び、剤型・処方開発を行うことが欠かせません。

素材を加工処理する際には、安全性、使用感、溶解状況、そして製品の特性が最大限活かされているか否かを徹底追及しながら、製品化をすすめています。使用時に喜びと感動を感じていただける製品づくりを行うことも、私たちの大きなこだわりのひとつです。

科学的手法を用いた有用性研究と徹底した使用テストによる製品開発

素材や製品の特徴に関しては、科学的手法を用いた評価を行い、より効果の高い製品開発を目指します。

例えば、入浴剤の温浴作用や清浄作用、育毛剤の発毛作用などについて、科学的な試験を行い、データを客観的に評価し、製品開発を行います。一方で、現状に満足することなく、作用のメカニズムを追求することで、新たな発見をし、次なる健康の提案につなげていきます。

また、「使用感」も製品開発における重要なポイント。使用テストにより、使用感と効果の両面において、お客様にご満足いただけることを確認しながら製品開発を行います。

生産から使用シーンまでを想定した製品の安定性確保

生産からお客様が使い終わるまでを想定した、製品の安定性試験を行います。各ご家庭や流通におけるさまざまな保管シーンを想定し、長期の保存試験や苛酷条件での試験を実施。その結果、水滴を浴びることの多い浴室内でも保管が可能な耐久性・安定性を実証しています。パッケージに関しては、耐久性・安定性はもちろん、使いやすさも追及。使用試験を繰り返し行い、使い勝手のよい容器開発にも力を注いでいます。

ヒトや環境や浴槽などの安全性の確保

すべての製品において、安全性が確認された成分で構成し、さらにヒトパッチテストなどを実施し、人体への安全性を確認しています。

また、日常的な製品の使用シーンを想定し、安全性を確認しています。残り湯を排水したときの環境への影響、浴槽・給湯器などへの負担の有無、残り湯の洗濯物に対する影響などの試験も徹底して行い、安全・安心が確認できた製品だけを、お客様に提供しています。

信頼されるものづくり | 「バスクリン品質」の製造

医薬部外品。でも、医薬品レベル。
自主基準の高さは、工場の誇りの高さでもあります。

工場の使命は、研究開発を経て生まれた製品を、品質を維持して確実に送り出すこと。お客様に信頼されるものづくりをするために、原材料の品質チェック、多岐にわたる異物混入防止策、製造番号によるトレーサビリティなど、医薬品レベルの高い自主基準「BC-GMP」を遵守しています。

※ GMPとは：Good Manufacturing Practiceの略。誰がいつ作業をしても、常に同じ高い品質の製品をつくるための遵守事項。
※ BCとは：Bathclin Corporationの略。

人為的な誤りを 最小限にするために



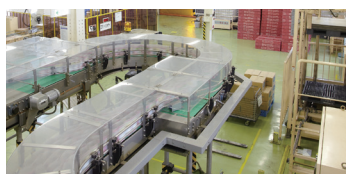
わかりやすい作業マニュアル作成と遵守

いつでも、誰でも作業内容がわかる標準作業手順書(SOP=Standard Operating Procedures)を作成し、間違いにくくシンプルな作業手順を作成し遵守しています。

作業工程ごとの教育訓練と認定制度

教育を受け認定された従業員のみがその工程に携われる制度を実施。工程によっては習得まで約3ヵ月もの研修を重ねます。

異物混入など品質の 低下を防止するために



定められた服装基準の遵守

従業員は全員ホコリやゴミのつきにくい作業服を着用。髪に関しても、インナーキャップにさらに頭巾を重ね、万全を期しています。

原材料の品質の受け入れ検査

品質チェックに合格した原材料のみ製造工程に投入されます。また、原材料メーカーと協力して、常時品質チェック基準を満たした原料が供給される体制を構築しています。

工程内に異物除去設備を設置

ふるい、マグネット、金属検出器など、複数の工程で異物除去を行います。生産ラインのほとんどの工程においてカバーを設置するなど、さまざまな異物混入防止策を実施しています。

ライン洗浄システムの導入

異なる品種を生産する際には、別製品の成分混入を防ぐためにライン洗浄システムを導入しています。

高い品質を 保証するために



製造管理と品質管理の確認を経て出荷

単に品質検査に合格しただけでなく、製造管理(製造設備の正しい稼働、正しい作業手順)と品質管理(試験設備の正しい稼働、品質規格との適合)、両者の確認ができたもののみ出荷しています。

原材料、製造設備、製造条件変更時の保証

有効成分が基準内の比率で安定して入る仕組みになっているか。基準を満たす品質を生産できることを検証するシステム(バリデーション)を構築しています。

製造番号の保証

画像処理装置により製造番号を全数、印字状態(品質)まで確認しています。

内容量の保証

すべての製品において製品重量のチェッカーを通し、内容量を確認・保証しています。

製品のトレーサビリティ

製造番号(ロット)から、その製品に使われている原材料まで追跡できるシステムを導入しています。

信頼されるものづくり | 生薬へのこだわり

生薬の有効性を最大限に活かしたものづくりは、私たちの伝統と自信。

株式会社バスクリンは、100年以上、生薬の有効性を研究し、その効果をものづくりに活かしてきました。求められるものづくり、そして自信を持って提供できるものづくりのために、私たちは、生薬に対するゆるぎない4つのこだわりを大切にしながら、製品開発を行っています。

厳選した素材のみを使用します



一口に生薬といっても、産地、品種、栽培方法、収穫時期などによって、成分組成や有効性が大きく異なるものもあります。私たちは、ひとつの生薬を徹底的に分析し、目的の素材として使用するには「どこの」「どんな」ものが最も適しているかを調べたうえで、製品化へと結びつけます。

たとえば、モウガシリーズに多く使用される「ショウキョウ(しょうが)」も、ショウキョウなら何でもいい、というわけではありません。ひとつの生薬にこだわるのではなく、ひとつの生薬の中身にこだわって、研究と分析を行っています。

生薬の品質管理にこだわっています



株式会社バスクリンが高級育毛剤のために使用する生薬の中には、生産地への視察、生産者との話し合い等を行い、私たちが求める基準を満たしているかどうかを定期的にチェックしているものもあります。

また、実際に使用する前に品質検査を行い、当社の定めた規格レベルに達していないものは使用しません。生薬の品質管理にこだわっているからこそ、高品質な製品の提供が可能となるのです。

生薬エキスへのこだわり



生薬エキスの抽出方法にこだわり、有効性を最大限に引き出すことができる抽出技術を確立しています。

一方で、引き続き生薬の生産者との共同研究を行い、よりよい品質の生薬を確保するための方法を追及しています。

生薬の「組み合わせの妙」を追求します



東洋医学的概念を軸としつつ、現代科学を駆使した研究開発を行うことが、私たちのスタンスです。生薬の効果は、 $1+1=2$ とは限りません。

組み合わせによって、ときには大幅なプラスとなり、あるいはマイナスにもなる、生薬独特の組み合わせの妙を徹底的に追求し、「もっとも適した組み合わせ」を実証できたもののみを、製品化に活かすよう日々努力しています。

信頼されるものづくり | 環境への取り組み

自然と共生していくために、私たちが実行していること。

地球環境のために、株式会社バスクリンが実践している取り組みをご紹介します。

環境経営方針



環境に配慮した パッケージ

さまざまな新しい技術を容器に積極的に取り入れ、リサイクル、リユース、ゴミの減量化に取り組んでいます。

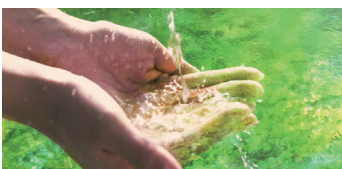


産業廃棄物 ゼロエミッション



地球温暖化防止

温室効果ガス排出量の削減、省エネルギーに取り組み、低炭素社会の実現に貢献しています。



基本理念

株式会社バスクリンは、自然との共生を原点とする企業として、地球環境・地域環境に配慮し、健やかで心地よい生活を提供するため、下記の行動指針に基づき全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

行動指針

1. 当社の事業活動において、開発・生産・販売・物流・使用・廃棄の各段階における環境負荷の低減に資する活動を積極的に進めるため、次の項目を重点管理として取り組みます。

- 1) 環境配慮型製品の開発設計 2) 環境配慮型製品の販売促進 3) 電気・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 4) 廃棄物の3R(減量、再使用、再利用)の推進 5) 節水の推進 6) 化学物質の削減

これらの項目について環境経営目標・活動計画を定め、環境経営システムを確立し、継続的な改善と汚染の防止に努めます。

2. 環境関連法規、規制及び当社が同意するその他要求事項を遵守します。

3. 環境への取組みについて、環境経営活動レポートを作成し公表します。

リサイクルしやすい容器へ

1999(平成11)年、容器リサイクル法に基づき、「バスクリン」の容器を全面リニューアル。再生紙とプラスチックを使用し、分別しやすく、つぶして処分しやすい容器を採用しました。

リユースできる容器へ

「きき湯」、スキンケア入浴液「ソフレ」で、容器をリユースできる詰め替えパッケージを導入しています。

ゴミを減らせる容器へ

ゴミの減量をめざして、「バスクリンマルシェ」で、パウチ容器を本体容器として使用しました。

安全に処理できる容器へ

ゴミ収集時や処理時の安全に配慮して、ヘアケアシリーズ「インセント」をはじめとするスプレー缶製品は、すべて残ガスを排出する機能を付けています。

工場で出る廃棄物は細かく分別しリサイクルにまわすことを基本に、再資源化率100%をめざすゼロエミッションを実行しています。

エコドライブの実践

営業活動での車の使用では、積載量の最適化、テレマティクスの導入、ハイブリッド車への切り替えの推進など、エコドライブの意識向上に取り組んでいます。

クールビズ、ウォームビズの実施

5月～10月の6ヶ月間、クールビズを実施し、空調温度28℃の設定を行っています。

また、11月～3月の5ヶ月、ウォームビズを実施し、空調温度20℃の設定を行っています。

「eco検定」の全社員合格を目指して

環境人材育成に重点を置き、環境経営目標の一つとして、「eco検定」の全社員合格を目指しています。

株式会社バスクリンの歩み (1890年代~1970年代)

1893年
(明治26年)



「津村順天堂(現 株式会社ツムラ)」創業
初代・津村重舎が東京市日本橋区に「中将湯本舗津村順天堂」を創業開店

1897年
(明治30年)

日本初の入浴剤
「浴剤中将湯」発売
婦人薬「中将湯」から生まれたこの入浴剤を使用した銭湯は「中将湯温泉」として親しまれました。



1930年
(昭和5年)

芳香浴剤「バスクリン」発売
「浴剤中将湯」の成分に温泉成分と芳香を加え夏用入浴剤として販売。発売当時のブリキ缶は銭湯で好評を博しました。



1945年
(昭和20年)

太平洋戦争
原料、資材、人手の不足で生産を一時中止。

1950年
(昭和25年)

「バスクリン」ガラス瓶で生産再開



昭和30年代

高度成長期
内風呂が増加し、一般家庭でも「バスクリン」が人気に。

1960年
(昭和35年)

「バスクリン ジャスミン」
ブリキ缶で発売



1964年
(昭和39年)

静岡工場を新設、目黒工場から移転
「バスクリン」の需要急増に対応。

1967年
(昭和42年)

バスクリン容器革命1
缶容器から、紙の胴体と金属の蓋を採用したスパイラル缶へ。コスト削減と効率的生産が可能になりました。



1972年
(昭和47年)

日本初の浴槽洗浄剤「バスピカ」発売
お風呂の残り湯に溶かしておくだけの手軽さが支持され、予想を上回る販売数量を記録。



1975年
(昭和50年)

「クールバスクリン」発売
夏向けの入浴剤は年間を通した定番商品となり、2008年には「バスクリンクール」と改名。



昭和50年~

「バスクリン」アイテム拡大路線へ
時代の要請に応えた新シリーズを次々発表。

株式会社バスクリンの歩み (1980年代～現在)

1986年
(昭和61年)

本格派の温泉入浴剤「バスクリン 日本の名湯シリーズ」発売
順次種類を拡大し、後に「ツムラの日本の名湯シリーズ」と改名し、
現在は「日本の名湯シリーズ」と改名。



1987年
(昭和62年)

日本の名湯シリーズに「登別カルルス」登場
白濁する入浴剤を日本で初めて開発。



1988年
(昭和63年)

株式会社津村順天堂から「株式会社ツムラ」に社名変更

1994年
(平成6年)

液ダレしない育毛トニック「インセント」発売



1998年
(平成10年)

スキンケア入浴液
「バスクリン ソフレ」発売



1999年
(平成11年)

「バスクリン」容器革命2
30年ぶりの改訂で人間工学に基づく持ちやすい容器へ。
再生紙使用など環境に配慮した容器に生まれ変わりました。



2003年
(平成15年)

発泡タイプの温泉入浴剤
「きき湯」発売



2004年
(平成16年)

生薬ベースの育毛剤「モウガ」発売



2006年
(平成18年)

「ツムラ ライフサイエンス株式会社」創業
株式会社ツムラから家庭用品事業を承継し分社

2007年
(平成19年)

体によく肌にやさしい
「バスクリン カラダプラス」発売



2008年
(平成20年)

ツムラグループから独立
特別目的会社「株式会社プルメリア」設立、株式会社ツムラからツムラ ライフサイエンス株式会社の全株式を譲受。
経営者と従業員が株式会社プルメリアの株式の一部を取得し、「MEBO」を執行。
株式会社プルメリアがツムラ ライフサイエンス株式会社を吸収合併し、
新生「ツムラ ライフサイエンス株式会社」誕生。(2009年)

2010年
(平成22年)

社名を「ツムラ ライフサイエンス株式会社」から「株式会社バスクリン」に



2012年
(平成24年)

アース製薬グループに加わる

会社概要

設 立	平成20年7月1日	
本 社 所 在 地	〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル8階	
TEL / FAX	TEL: 03-3511-5811 / FAX: 03-3511-5820	
資 本 金	3億円 (令和元年11月18日現在)	
事 業 内 容	医薬部外品 (入浴剤・育毛剤他)、化粧品、雑貨品等の製造販売	
役 員	取締役会長 (非常勤)	川端 克宜
	代表取締役社長	三枚堂 正悟
	常務取締役	平田 照雅
	取締役相談役	古賀 和則
	取締役	綱川 光男
	取締役	小沢 聡
	取締役 (非常勤)	白鳥 暢哉
	常勤監査役	額賀 芳孝
	監査役 (非常勤)	坂本 泰範
従 業 員 数	228名 (2020年1月末現在)	



事業所のご案内



東日本支店

〒102-0073 東京都千代田区九段北
4-1-7 九段センタービル8階
TEL: 03-3511-5821
FAX: 03-3511-5833

東京支店

〒102-0073 東京都千代田区九段北
4-1-7 九段センタービル8階
TEL: 03-3511-5822
FAX: 03-3511-5833

名古屋支店

〒464-0025 愛知県名古屋市東区葵
3-22-8 ニューザックビルディング4F
TEL: 052-856-1150
FAX: 052-856-1152

大阪支店

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区
宮原2-14-10 中尾ロイヤルビル4F
TEL: 06-4807-7610
FAX: 06-4807-7612

福岡支店

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神
4-2-20 天神幸ビル7F
TEL: 092-687-4600
FAX: 092-687-4610
FAX: 092-473-7477

静岡工場

〒426-0083 静岡県藤枝市谷稲葉
242-1
TEL: 054-641-4065
FAX: 054-641-0368

つくば研究所

〒305-0033 茨城県つくば市東新井
29-9
TEL: 029-861-0160
FAX: 029-861-0179

グループ企業のご案内

アース製薬株式会社

東京都千代田区神田司町2-12-1

事業内容：医薬品、医薬部外品、医療用具、家庭用品
などの製造販売並びに 輸出入

<https://www.earth.jp/>

アース環境サービス株式会社

東京都千代田区神田紺屋町17番地

事業内容：総合衛生管理

<https://www.earth-kankyo.co.jp/>

アース・ペット株式会社

東京都港区新橋4-11-1 A-PLACE 新橋

事業内容：ペット用品等の製造及び販売

<https://earth-pet.co.jp/>

白元アース株式会社

東京都台東区東上野2-21-14

事業内容：防虫剤、マスク、保冷剤、除湿剤、入浴剤
など日用雑貨品の製造及び販売

<https://www.hakugen-earth.co.jp/>

Earth (THAILAND) CO.,LTD.

25 Bangkok Insurance/Y.W.C.A
Bldg. 30th Fl., South Sathorn Road,
Tungmahamek, Sathorn, Bangkok
10120 Thailand

事業内容：虫ケア用品、日用品の製造、販売、
輸出入

<https://www.earth-th.com/>

安斯(上海)投資有限公司

中国上海市長寧区遵義路100号 虹橋南
豊城A楼908-909室

事業内容：家庭用虫ケア用品、日用品等の販
売

<http://www.earth-china.com/>

天津阿斯化学有限公司

中国天津市天津経済技術開発区西区
新安路98号

事業内容：虫ケア用品、日用品の製造、販売、輸
出入

安速日用化学(蘇州)有限公司

中国江蘇省蘇州市新区朝紅路418号

事業内容：日用品の製造、販売、輸出入

Earth Corporation Vietnam

Floor 18th, Block A, Viettel Tower, 285 Cach
Mang Thang Tam Street, Ward 12th, District
10th, Hochiminh City, Vietnam

事業内容：住居用洗剤、芳香剤、家庭用虫ケア用品等の
製造及び販売

<https://earth-vn.com/>